



原子力産業新聞

2013年9月19日
平成25年(第2687号)
毎週木曜日発行
購読料1年分前金(消費税、国内送料込)
会 員 9,500円(1部220円)
非会 員 15,000円(1部350円)
(当会会員は年会費13万円に本紙購読料の9,500円を含む。1口1部)

発行所 日本原子力産業協会

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1丁目2番8号 虎ノ門平塔タワー9階 郵便振替 00150-5-5895
電話 03(6812)7103 FAX03(6812)7110 ホームページ <http://www.jaif.or.jp/> メールアドレス shinbun@jaif.or.jp

昭和31年3月12日第三種郵便物認可

IAEA総会で山本科学技術担当大臣



国際原子力機関(IAEA)の第五十七回総会がウィーンで開幕し、出席した山本一太大臣が日本の代表演説のなかで、原子力ゼロ政策の見直しや汚染水問題への取り組み状況を説明した。

汚染水問題などを説明

原子力ゼロ政策の見直しも

演説で山本大臣は、昨年十二月に安倍政権が発足してから日本がエネルギー政策を転換し、前政権が打ち出した二〇三〇年代に原子力発電の割合をゼロにするという政策は根本から見直す」と明言。また福島第一原子力発電所の汚染水問題について、同発電所から〇・三平方キロメートルの港湾外および海水の放射線量はWHOの飲料水指針を下回っていると説明し、九月三日に策定した基本方針のもと、四百七十億円の財政措置を講じて凍土方式の陸側遮水壁の構築や高性能な多核種除去設備など、国が前面

内外の説明責任などに期待

原子力委員会の第五回原子力委員会の在り方見直しのための有識者会議が十一日、開催された。

このなかで、今後の原子力委員会に期待することについて各省から見解が示された。経済産業省からは、平和利用の実態を確認し国内外に責任ある説明を行うことや、技術的・科学的な情報発信のあり方の抜本的見直し

大飯4が定検入り稼働ゼロに

1年2か月ぶり
関西電力の大飯発電所4号機(PWR、出力百十八万kW)が十五日、定期検査のため停止し

リンケし、考え方を取りまとめる目的。有識者からは、避難生活の長期化などを懸念し、年齢に応じた生活設計、医療被ばくの考慮など、多方面の意見がだされた。

安定供給継続に原子力の役割が重要

原産協会がコメント

日本原子力産業協会は十七日、原子力発電ゼロを迎えて、安定供給継続のために、原子力規制委員会の審査で安全性を確保された原子力発電プラ

年内にも全体像

汚染水処理委 技術を広く公募

経済産業省の福島第一原子力発電所汚染水処理に関する委員会は十三日、国内外からの技術提案の募集に向け、今後の進め方を整理した。リスクを洗い出した上で、有効な対策の打てるものについて、近く一覽表を公表し、年内にも全体像を示す。

シオンに基づき、汚染水に関するリスクを洗い出し、①具体的に有効な対策のあるもの②対策に技術的な難点のあるもの③有効な対策がないもの④情報が少なく評価できないもの——に対策を分類した上で、「汚染水対策に係るリスク・対策一覽表」を作成することとした。

電気事業連合会は十三日の定例記者会見で、現在問題となっている福島第一原子力発電所の汚染水に関する、電力業界全体で取り組んでいく考えを示した。具体的には、東京電力からの放射線管理関連の要員派遣、資機材整備等の要望を受け、電事連内福島支援本部下の「汚染水対策プロジェクト

電力業界全体で取り組みへ

汚染水問題に

原子力規制委員会の福島発電所事故に伴う避難住民帰還に向けた検討チームが十七日始動した。政府が三月、今後の避難指示解除に備え、きめ細かな防護措置を具体化するべきとしたのを受け、関係省庁からもヒア

住民帰還の防護措置など検討

規制委がチーム

この一週間の出来事

この一週間の出来事

- ・規制委、基準適合審査で伊方現地視察(13日)
- ・新潟県原子力委、汚染水問題説明受け(14日)
- ・日本列島、台風襲来で停電多発(16日)

原産新聞の紙面から

◇国内ニュース

- ・有識者ら、原子力委見直しで提言(2面)
- ・米電力の原子力幹部、福島訪問・意見交換(2面)
- ・規制委、海洋モニタリングで検討会始動(2面)
- ・東芝、高性能超電導コイル開発(4面)

◇海外ニュース

- ・NEAが福島事故からの教訓で報告書(3面)
- ・英政府、処分場立地選定プロセス改定(3面)
- ・加シガーレイク鉱山の生産開始に遅れ(3面)

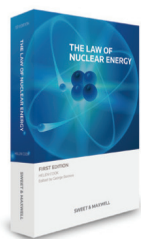
NOW PUBLISHED

YOUR GUIDE TO NUCLEAR ENERGY LAW

THE LAW OF NUCLEAR ENERGY

Author: Helen Cook
Editor: George Borovas

ISBN: 9780414023154
£220



Whatever area you work in – development, finance or research – we can help you understand the ins and outs of **The Law of Nuclear Energy**.

The new title:

- Examines the International Atomic Energy Agency (IAEA) guidelines
- Covers the content of international and national nuclear energy law and gives insight into possible future development to existing legislative and regulatory infrastructure
- Discusses how to implement the obligations contained in the international treaties and conventions at a national level

- Examines cross-border issues such as nuclear liability and export controls
- Covers the procurement phase for nuclear construction
- Describes the construction process and key contractual provisions, including licensing and permitting, dispute management and avoidance
- Discusses small modular nuclear reactors, including the potential benefits and legal challenges
- Considers traditional and new approaches to nuclear financing
- Considers future issues in nuclear law, including in response to new nuclear technologies

sweetandmaxwell.co.uk • TRLUKI.intlorders@thomsonreuters.com • +44 (0)1264 388560
Quoting reference: 1050208A

SWEET & MAXWELL

